経営比較分析表（平成30年度決算）

千葉県　横芝光町

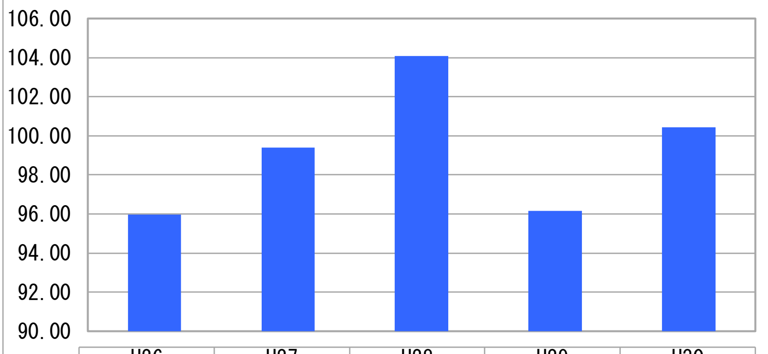
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
－	該当数値なし	3.07	100.00	3,780

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
23,861	67.01	356.08
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
729	0.39	1,869.23

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- －　類似団体平均値（平均値）
- 【】　平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	95.98	99.40	104.07	96.16	100.44
平均値					

②累積欠損金比率(%)

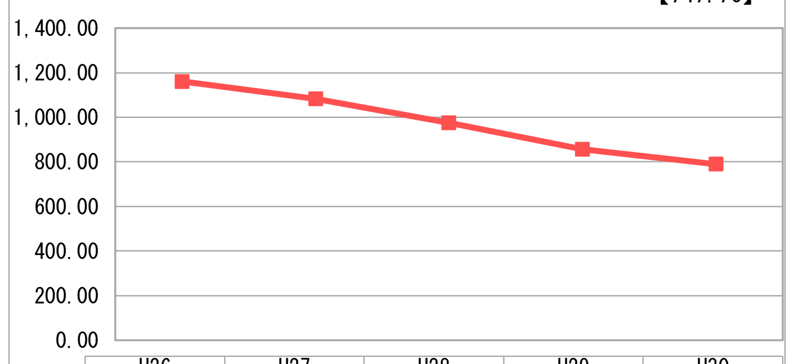
該当数値なし

③流動比率(%)

該当数値なし

④企業債残高対事業規模比率(%)

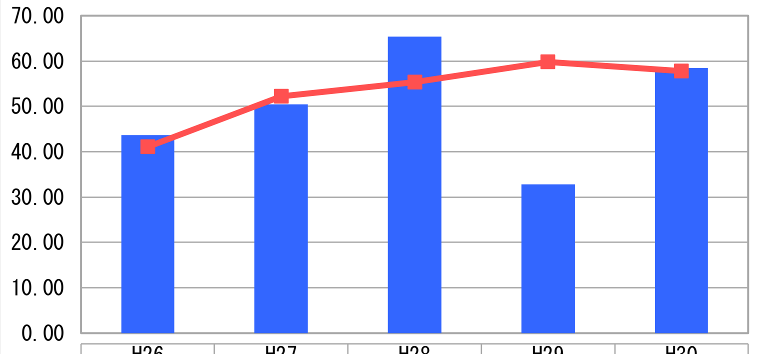
【747.76】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	1,161.05	1,081.80	974.93	855.80	789.46

⑤経費回収率(%)

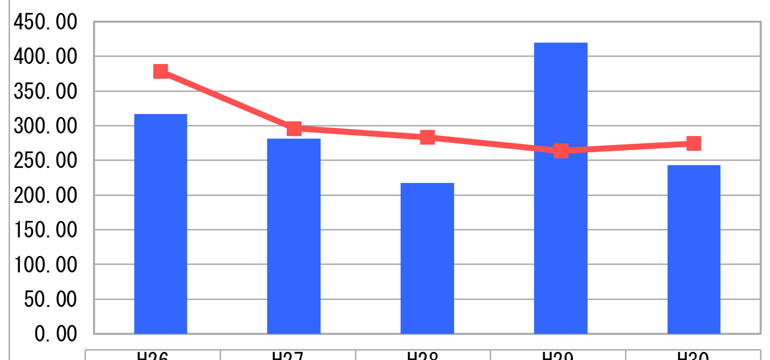
【59.51】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	43.65	50.44	65.41	32.82	58.49
平均値	41.08	52.19	55.32	59.80	57.77

⑥汚水処理原価(円)

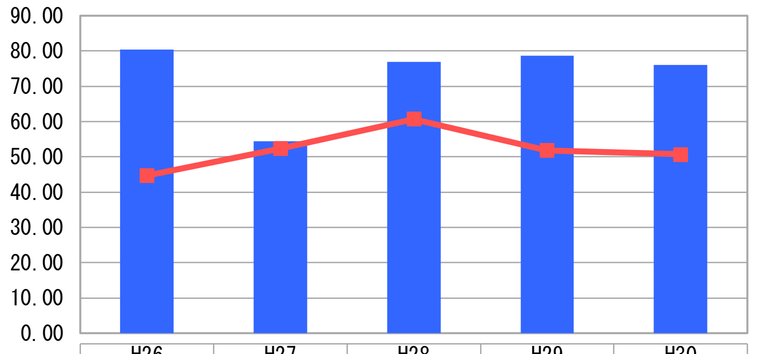
【261.46】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	316.61	281.64	217.46	419.40	243.24
平均値	378.08	296.14	283.17	263.76	274.35

⑦施設利用率(%)

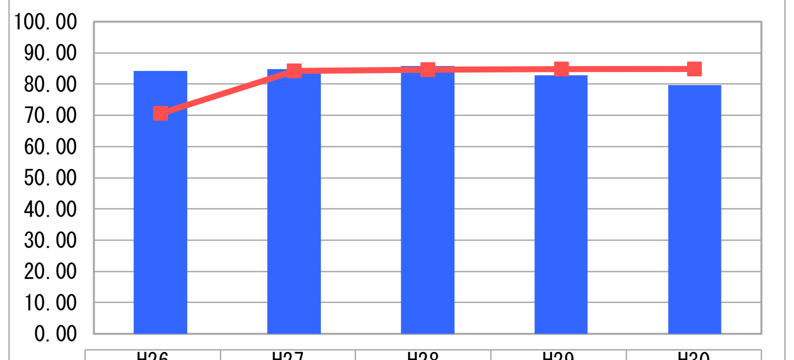
【52.23】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	80.35	54.41	76.86	78.60	75.98
平均値	44.69	52.31	60.65	51.75	50.68

⑧水洗化率(%)

【85.82】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	84.14	84.91	85.77	82.87	79.70
平均値	70.59	84.32	84.58	84.84	84.86

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

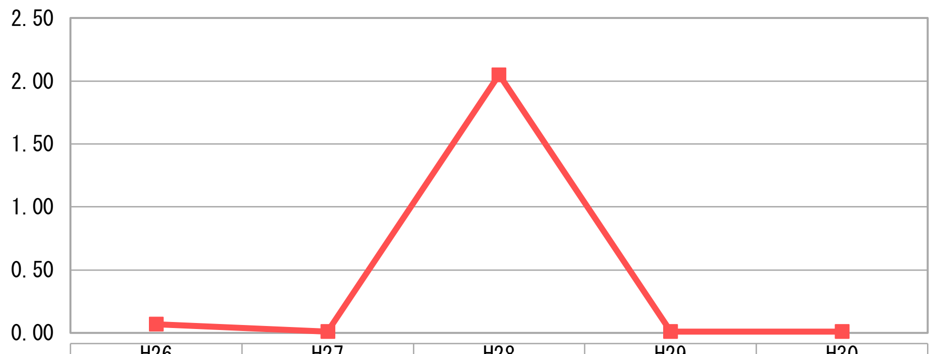
該当数値なし

②管渠老朽化率(%)

該当数値なし

③管渠改善率(%)

【0.02】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.07	0.01	2.05	0.01	0.01

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、H30は100.44%で100%を上回った。要因は、維持管理費（修繕費）の減少によるものである。
④企業債残高対事業規模比率は、H26からH30まで0.00%となっているが、これは、一般会計からの繰入金で賄っているためである。
⑤経費回収率は、H29に実施した機能診断・最適整備構想策定の委託料分が減少したため、改善した。経費回収率は、類似団体とほぼ同水準であるが、使用料収入以外は、一般会計からの繰入金で賄われている。
⑥汚水処理原価は、H29に実施した機能診断・最適整備構想策定の委託料分が減少した。類似団体に比べ安価となっており、効率的な汚水処理が実施されている。
⑦施設利用率は、類似団体に比べ高い稼働率であり、適正に稼働している。
⑧水洗化率は、類似団体と比べ下回った。前年と比較しても減少が進んでいるため更なる接続増加に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は、H26からH30まで0.00%である。これは改善を要する管渠がなかったため。
　しかしながら今後管渠の老朽化が進み、更新が必要となることから、H29に実施した機能診断・最適整備構想に基づき、中長期的な事業計画を策定し、健全な経営を図る。

全体総括

　直接の維持管理費については、概ね使用料で賄うことができるが、人件費、公債費を含めると財源不足となるため、一般会計からの負担を必要としている。
　また今後、施設・設備等の老朽化が進んでいくことから、H29に実施した機能診断・最適整備構想に基づき、中長期的な事業計画を策定し、健全な経営を図る。